

| 会議名 | 第1回学校運営協議会 議事録 | | |
|---------|---|--------------------|----------|
| 場 所 | 大阪府立すながわ高等支援学校4階 校長室 | | |
| 日 時 | 令和8年6月4日(木) 14:00~15:30 | | |
| 目 的 | 学校運営協議会は、保護者等との連携協力、学校運営の方針についての協議及び承認、保護者等の意向の反映のために設置する、大阪府教育庁の附属機関である。 | | |
| 次 第 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 校長あいさつ (2) 学校運営協議会委員紹介 事務局職員紹介 大阪府立すながわ高等支援学校 運営協議会 実施要項確認 会長、副会長選出 (3) 協議 <ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度学校経営計画について ・10期生の進路状況等の取り組み(進路だより) ・今年度の広報活動の取り組み ・校内研修の取り組み (4) 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書選定について (5) 意見交換 まとめ (6) 校長挨拶 | | |
| 学校運営協議会 | 会 長 | 四天王寺大学教育学部教育学科教授 | 土口 千恵子 様 |
| | 副会長 | 株式会社カネシン オートボックス顧問 | 辻 昭宏 様 |
| | 委 員 | 泉州中障害者就業・生活支援センター長 | 斉喜 祐輔 様 |
| | 委 員 | 株式会社サクセス 自立支援推進室長 | 河本 妙子 様 |
| | 委 員 | 泉南市 行政経営部 危機管理課長 | 小原 成裕 様 |
| | 委 員 | すながわ高等支援学校PTA会長 | 木村 尚美 様 |
| | 校 長 | すながわ高等支援学校校長 | 加納 由朗 |
| | | すながわ高等支援学校事務局 | 9名 |

会議内容

要約 令和8年度学校経営計画の計画状況について確認されたこと及び協議テーマについて、各立場から実りのある意見交換がなされた。

協議テーマについてのご質問・ご意見

- 令和8年度学校経営計画の説明は、昨年度に引き続き、姉妹校締結と国際交流を中心に据えて行われた。昨年度3月に姉妹校となった韓国の支援学校に、8月5～7日で訪問することの説明があった。校長を含む教員6名・生徒4名の計10名で訪問すること、大阪府の高等支援学校として初の試みであることが伝えられ、訪問に参加する生徒だけでなく、交流事業で得られた成果は、全校で共有できるプログラムとし、来年度以降も継続する予定であることを共有した。
学校経営計画について、委員からは不登校生徒への対応について質問があった。ケース会議を頻繁に開催しSSW等の助言を活用していること、連絡頻度を状況に応じて調整し、別室対応やオンライン授業を提供していることを説明した。また学校の校則と、努力目標である「身だしなみフォーマルスタイル」を設定することで、生徒の登校しやすさと職業教育に必要なルールを両立していることを説明した。
- 進路状況等の取り組みについては、進路だよりをもとに3月に卒業した10期生の進路状況の内訳などについて説明があった。関西国際空港に近い立地から生産工程、運搬・清掃の業種への就労が多い特色があることを説明した。今後も企業就労の割合を増加させるための要因分析、協議を継続して行う必要があることを確認した。
- 広報活動の取り組みについては、昨年度の広報の成果もあり定員割れを回避することができたという説明があった。先日行った中学校教員向けの研修では、35校から申し込みがあったことを共有した。また、夏に行う中学校訪問については、例年この研修で参加のなかった中学校を対象に行っていたが、それだけではより広範囲の中学校への周知が不十分であることから、堺市以南すべての中学校に資料とアンケートを送付する形をとることを説明した。また、すながわ高等支援学校展については、「いこらも～る泉佐野」様での休日開催とし、単学年での開催ではなく学校全体として取り組んでいくことを確認した。学校の広報活動のターゲットとして保護者・中学校教員中心から中学生本人にも響く内容へ拡張していき、就労に向けた学習の充実に加え、クラブ活動・学校行事等を発信し、入学希望者の確保をめざしていく方針を共有した。また、委員からは、学校HPの更新遅延が指摘された。広報活動の一環として随時更新していく必要性和各ページの見直しを確認した。
- 今年度の教員向け校内研修の計画について報告がされた。公開研修については、毎年外部から多くの先生方に参加いただき、今年度については「自立活動」をテーマに行うことが報告された。また、今年度は、新転任の教員が多く赴任してきたことから校内の案内ツアーや高等支援の説明を実施し、新転任教員への支援の強化と公開研修の充実で研修体制を改善することが報告された。また、委員からは、授業外業務の多さによる負担・モチベーション低下の懸念が懸念され、新任教員へのサポート体制が企業に比べ手薄で、精神的負担につながる可能性について指摘があった。
- 令和8年度教科書選定については、実際に使用している教科書を確認していただいた。
- 保護者の意見書については提出がなかった。

次回開催日 令和8年11月予定

作成者 大阪府立すながわ高等支援学校 首席 根来 陽一
榎原 千鶴 (令和8年6月17日修正)